2020年11月12日

ｓａｎｔｅｃ株式会社

株主様・投資家様からいただいた質問への応答（要旨）

第２四半期決算発表後（10月30日～）の主要な質疑応答の要旨を記載しております。

Ｑ． 2020年度上期は大変好調だったと思いますが、その理由を教えて下さい。

Ａ． 中国向けの光学特性検査装置(STS)および波長可変光源(TSL)と眼科医療機器の販売が好調だったことが主な要因です。光部品の売上が2019年度下期の在庫調整から需要が回復し始めたこともプラスに働きました。

Ｑ． 2020年度下期は、上期と比較すると減収減益の予想ですが、この背景を教えて下さい。

Ａ． 新型コロナウイルス感染症の影響で眼科医療機器市場が在庫調整に入る見込みです。加えて中国向け光学特性検査装置及び波長可変光源の売上は、米中貿易摩擦の影響もあり、下期は減少を見込んでいます。
一方で光部品は、５Ｇ関連を始めポジティブな市場環境を背景に、北米向けを中心に上期と比較して売上が増加する見込みですが、光測定器関連事業の減収を補える増収にはならないと見込んでおります。
また、売上の製品構成が変わり、相対的に利益率が高い製品の割合が減少することもあり、利益についても減益を見込んでおります。

Ｑ． 下期に向けての懸念事項はありますか？

Ａ． 新型コロナウイルス感染症の影響が長引くことと、米中貿易摩擦が悪化することです。

Ｑ． 中長期的な市場環境はいかがでしょうか。

Ａ． 通信市場は、増加する通信トラフィック、５Ｇ関連投資を背景に、ポジティブな市場環境にあると思います。今後、新型コロナウイルス感染症が落ち着けば、眼科医療機器の需要も戻ってくると思いますが、それがいつになるのかは不透明な状況です。

上記の回答は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものです。